

12月3日に行われる「21ヒューマンライツメッセージなると」で、小学生から大学生までの5人が人権問題に関する意見を発表します。その中から、鳴門市第一中学校の蟹江紗世さんの意見発表を紹介します。

「人に使う株って言葉は嫌い」

鳴門市第一中学校2年 蟹江紗世

みなさんには、友達だと胸を張って言える人がいますか。友達に気付けずしてもらったことはありませんか。私には、少し前までは苦手だったけれど、今は大好きな友達Xさんがいます。今日は、彼女が私に教えてくれたことを話そうと思います。

私は、小学生のころXさんが苦手でした。今となっては、どうして苦手だと思っていたのか分かりません。周りの友達も苦手だと言っていたから、私もそれに流されていたように思います。Xさんは同じ小学校ではなく、習い事で一緒になる子でした。だれにでも気さくに話しかける子で、私にもよく話しかけてくれていました。ですが、その話をあまり聴いていませんでした。特に理由もなく、苦手だと思っていたはずが、日に日に本当に苦手になり、いつしか声をかけてもらっても、適当に相づちを打ち、冷たい対応をするようになりしました。当時の私は、自分の間違った行動に気付いていませんでした。周りの友達も同じような素っ気な

い対応をしていると言っていたので、自分だけではないのだから間違っていないだろうと、心のどこかで安心していました。

そんなある日、突然、周りのみんなが私に話しかけてくれなくなりました。なぜ話しかけてくれなくなったのか理由が分からず、あまりに突然のことすぎて、何が何だか分からなくなりました。突然独りになって、怖くなりました。私が悩んでいた時に、当たり前のようには話しかけてくれたのは、私が素っ気ない対応をしていたXさんでした。彼女は、いつも通りに話しかけてきて、「何かあったの」と言ってくれました。私は、そのひと言がうれしくて、夢中で彼女に話をしました。Xさんは、私の悩みを馬鹿にすることなく、真剣に聴いてくれました。そして、私をなぐさめてくれました。その日から、私はXさんと話す回数が増え、それまで苦手だと思っていた気持ちはどこかに消え、彼女のことを大好きになっていました。Xさんといつも話すようになって、彼

女は思ったことをはっきりと言うことができ、人に寄り添える優しさを持っている人だということに気がきました。そして、いつしか私にとってXさんは尊敬できる友達になっていました。

Xさんから元気をもらい、私の心の傷が少し癒え始めた時、私は私の悪口を言っている人の言葉を偶然聞いてしまいました。その言葉を聞いた日、私は家で泣きました。暗い海に突き落とされたみたいで、何もない所で延々とその言葉を言われ続けているように感じ、その日はずっと泣いていました。次の日から私はXさんを避けるようになってしまいました。避けた理由は二つあります。一つは、彼女も私の悪口を言っていた人と同じように思っているのではないかと疑ってしまったから。もう一つは、自分と関わることで、Xさんがいじめられ、傷つけられるのではないかと不安になったからです。私の大切な人が私と関わることで傷つくくらいなら、自分一人で辛抱した方が良かったからです。

そんな時でも、彼女はいつもと変わらず、私に話しかけてくれました。私はXさんに申し訳なく思い、私と一緒にいたら人としての株が低いと思われるにいらぬことや、自分も少し前までは、あの人たちと一緒にXさんの悪口を言っていたということを告白しました。それを聞いたXさんは、「私は好きであなたと一緒にいる。それにそんなこと気にしてないよ。だって、今は友達でしょ。あなたと一緒にいたいから一緒にいる。文句は言わせないよ。それから、私は『人に使う株って言葉は嫌い』だからね。」と言いました。なんのためらいもなく言ってくれたその言葉に私は驚きました。私は彼女に謝り、感謝の気持ちを伝えました。Xさんと本当の意味で友達になれた気がしました。

私は、Xさんが私にしてくれたように困っている人がいたら助けられる人でありたいと思っています。彼女のようになりたいと思っています。彼女のようには、まだできませんが、あの日、彼女が言っていた「人に使う株って言葉は嫌い」という言葉は、これから私の支えになってくれることでしょうか。

みなさんにとって友達とは何ですか。改めて自分の行動や言動を見直してみてください。私がXさんに気付かせてもらい、救われたように、あなたも誰かの支えになり、勇気を与えられる人になれるかもしれないから。